

2022年8月19日

「JSB新規事業創出プログラム2022」の実施について

JSB：十八親和銀行の略称

株式会社十八親和銀行（取締役頭取 山川 信彦）は、KPMGジャパン（東京都千代田区、チェアマン 森 俊哉）と連携し、長崎県内の地域中核企業とスタートアップ企業がオープンイノベーション(*)により連携することで、新規事業の創出や長崎県の地域課題を解決する「JSB新規事業創出プログラム2022」を実施します。また、本プログラムに、地元企業4社が参加することが決定したことをお知らせします。

本プログラムは、長崎県内の地域中核企業の革新的ビジネス、および新たなサービスの創出を目的としております。十八親和銀行およびKPMGジャパンが事業プランの策定から、スタートアップとの協業案の実証実験まで一気通貫でサポートいたします。本プログラム実施にあたり、以下参加企業4社と関係者によるキックオフミーティングを8月19日に開催し、約9か月間に渡るプログラムをスタートさせます。

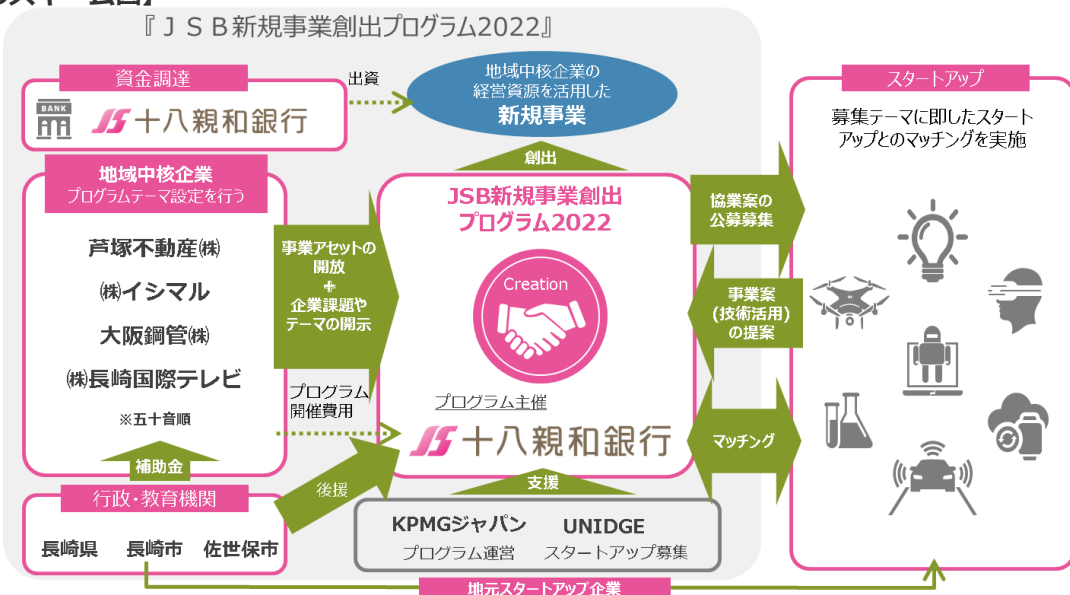
十八親和銀行では、各種機関、行政等と連携して、長崎県における新規事業創出の機運を高め、今後も地域経済活性化を後押しして参ります。

※自社の経営資源等と他社の技術やアイデアなどの資源の流出入を活用しイノベーションを創出すること。

【『JSB新規事業創出プログラム2022』概要】

名称	JSB新規事業創出プログラム2022
主催	十八親和銀行
共催	KPMGジャパン
協力	(株)ユニッジ
後援	長崎県、長崎市、佐世保市
参加企業	芦塚不動産(株)、(株)イシマル、大阪鋼管(株)、(株)長崎国際テレビ 【50音順】
目的	➢ 長崎県内企業の新事業創出と新規事業創出のスペシャリストの育成 ➢ 長崎県におけるオープンイノベーションの活性化
内容	十八親和銀行が主催する本プログラムを通して、長崎県の地域中核企業4社が実効性のある新規事業創出を目指し、多くの新規事業創出支援実績のある(株)ユニッジがソーシングするスタートアップに対し協業依頼を行い、協業案の事業化に向けてKPMGジャパンが伴走することで、地域課題や地域中核企業の経営課題の解決に取り組むもの。
期間	2022年8月19日（金）から約9か月間

【プログラムのスキーム図】



《 本件に関するお問合せ先 》

事務局：十八親和銀行 地域振興部 担当：山下・柴原

TEL 095 - 827 - 8609